



つつじが丘

教育目標 ゆたかなまなび たのしいなかま げんきなからだ
重点目標 とともに高め合う 七谷っ子

加茂市立七谷小学校

学校より

令和2年6月12日

No. 451号

<http://www.ginzado.ne.jp/~7tnj-k/>

e-mail k-7tnj@educet.plala.or.jp

「はきものをそろえる」

児童玄関には、「はきものをそろえる」という詩が掲示されています。これは、禅宗の【脚下照顧（きやっかしようこ）】の教えをもとに、藤本幸邦住職がつくられた詩だそうです。はきものをそろえることは、「自分自身を見つめる」「自分の行いを振り返る」と言うことにつながると考えられたのでしょうか。はきものをそろえることは、自分の使ったものをきちんと片づけることです。これは、七谷小学校が取り組んでいる「3つのあ」の「あとしまつ」にかかわることです。

全校朝会で次のような話をしました。

はきものをそろえる

**はきものをそろえると 心もそろろう
心がそろうと はきものもそろろう
めぐどきにそろえておくと
はくどきに心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと
世界中の人も心もそろうでしょう**

毎朝、児童玄関で皆さんの元気のよい挨拶を聞くと、とても嬉しく思います。

みなさんが、教室に行った後で、また嬉しくなるものを見つけました。何だと思いませんか？

（一人の子の靴箱の画像を見せて）これです。きれいに靴がそろっています。たまたまかな、と思って、次の日も見ました。さらにきれいにそろっています。もちろん他にも上手にくつをそろえている人はいます。学校に来たときだけかな、と思って、皆さんが帰った後見てみると、内履きもきれいにそろっています。きちんとくつ、履き物をそろえる人がたくさんいて、嬉しくなりました。

はきものをそろえるよさについて、掲示している詩と一緒に音読して確認しました。

この詩には、「だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう」と記されています。昨今のコロナウイルスによる新しい生活様式では、友だちが落とした消しゴムは拾ってあげるよりも落としたことを教えて、自分で拾わせることを奨励しています。また、人の物を黙って触ることもあまりよいこととは言えないところがあります。そこで、体育館トイレのスリッパについて紹介しました。体育館トイレのスリッパは、いつも次の人のことを考えてきれいに整っています。相手のことを考えて行動すること、これは「利他の精神」です。これなら七谷っ子はいくつもあげることができます。

6月の生活スローガンは、「助け合おう みんな仲間」です。3日に行われた生活朝会では、困っている人がいたらやさしくしたい、声を掛けたい、助けてあげたい、ということを各学級の代表が発表していました。みんな利他の精神です。そして、その行動を見ている人がいることも紹介しました。子どもからは、真っ先に「先生！」と声が上がりました。（うれしいことです。一層子どもたちをよく見ていかなければと思います。）紹介したのは、「七谷っ子のやる木」です。ここには、毎月のふり返りで、友だちの頑張っていたことを葉に書いて紹介しています。友だちのいいところを認め、表現することは、よりよい人間関係を築くことにつながります。これからも大切にしていきたいと考えます。

さて、その日の放課後。玄関に行ってみました。七谷っ子の心が見事にそろっていました。



授業研修「5年生道徳の授業！」

11日(木)に、中越教育事務所から指導主事の先生をお招きし、中学校と合同で授業研修会を行いました。会場は5年生教室。「密」の状態を避けるため、今回はZOOMを活用し、オンライン授業参観となりました。授業を参観する教室を4つ作り、そこに5年生教室の映像を送ります。参観された先生方は、各教室での参加となります。準備の段階で、うまく行かなかったことも多かったのですが、当日は、先生方のアイデアと工夫で無事、運営することができました。

子どもたちは、先生方が参観し、カメラが入っていても普段と同じように積極的に自分の考えを発表していました。指導主事先生からは、「自分たちの考えをしっかりと表現できる雰囲気の良い学級で素晴らしいです。」と誉めていただきました。また、「子どもたちの話し合いの様子を見ると、今回の授業の目標は既に達成できているように感じます。さらに一步高い目標を掲げて考えさせることもできる子どもたちですね。」と厳しくも子どもたちの心のよさを誉めていただき、嬉しく思いました。今後、一層、子どもたちによりよい授業が提供できるよう、職員一同、学んでいきたいと思っております。



ipadを4台設置しました。

5年生の授業が映ります。



【実際の授業の様子】

【オンライン授業参観】

お家でのネット環境について

加茂市教育委員会からお願いされた「パソコンやタブレットを使用したオンラインでの遠隔教育・家庭学習に係るアンケート」へのご協力、ありがとうございました。

七谷小学校の結果は、次のとおりです。



○ご家庭でインターネットを使うことができますか。

83.9%

○お子さんは、平日の日中、一人でパソコンやタブレットを使って、インターネットを利用することができますか。

53.2%

これは、新聞やニュースなどで取り上げられているオンライン授業、つまり家にいながら先生と授業をする環境について調査したものです。

学校の授業は、私が子どもの時から黒板を使用していました。今でもそうです。それが、この新型コロナウイルスによる影響で、「オンライン〇〇」という言葉がよく聞かれるようになりました。学校でも大学などは、いち早く導入し、取組を進めています。近い将来、七谷小学校でもオンライン授業が始められる日が来るかもしれません。

一方で、「ゲーム障害」「スマホ依存」という言葉もよく聞かれます。最近では、自宅にいながら遠方にいる他人と一緒にゲームに参加することができます。「子どもが平日、インターネットを利用できる」という項目には、半分以上の家庭が「できる」とあります。そのゲームには課金制度というものがあります。課金するとアイテムを手に入れることができ、ゲームに優位な立場で参加することができます。この課金については、制限を掛けたり、親の確認の元で行うなど約束をしたりしている家庭もあることと思います。課金はいわばお金です。(今年度はありませんが)「加茂祭の過ごし方」では、「お金の使い方に気を付け、おごり合いはしない。」とあります。課金について、ご家庭での約束事がありますでしょうか？新型コロナウイルスの影響で長い時間、家にいることが増えていました。これまでと違う様子はないでしょうか？時折、子どもとの話の中で、ゲームやネットの使い方について、確認していただけたらと思います。